

第 9 9 回

火山噴火予知連絡会資料

2004年10月26日

東北大学大学院理学研究科

岩手山

火山体下の高周波地震の活動は低調に推移した。2004年7月9日、山頂の北東約9kmにM4.4の地震が発生し、余震を伴った。9月20日、西岩手山カルデラ内に単純なスペクトルをもつ、継続時間の長い低周波地震が発生した。

傾斜歪変動は、2000年ころから見られる収縮傾向が継続している。

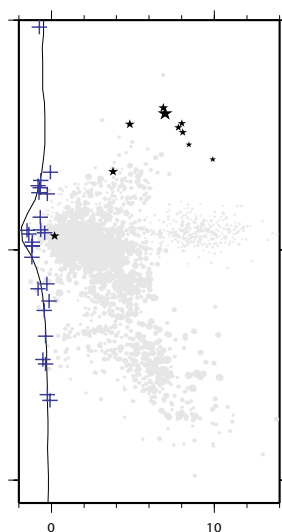
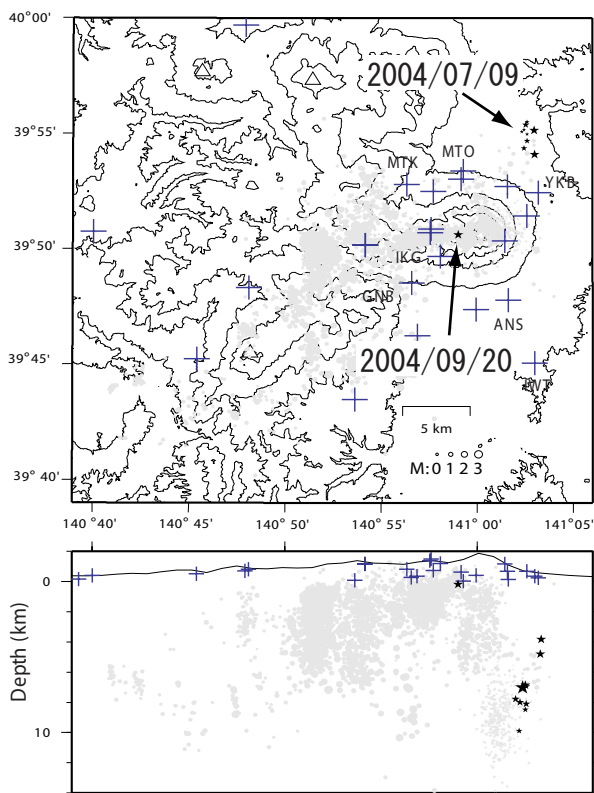


図1. 2004年7月9日に発生した地震(M4.4)と余震、ならびに2004年9月20日の低周波地震の震源。背景の灰色の記号は1998年~2004年6月に発生した地震の震源。+印は観測点。

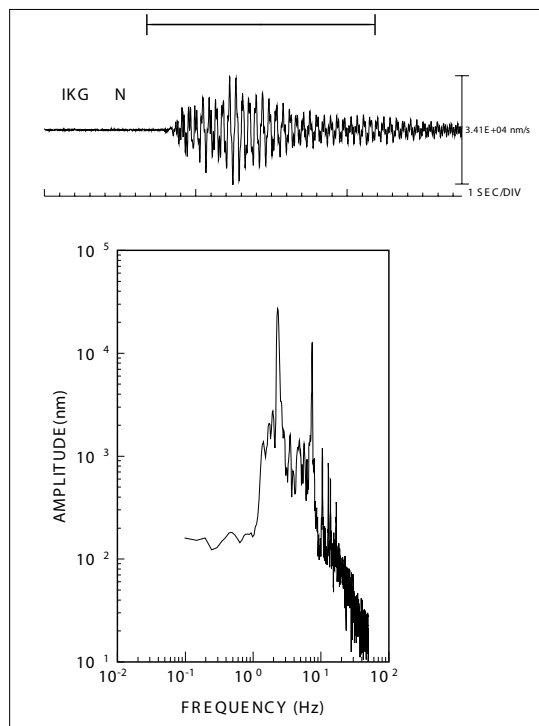
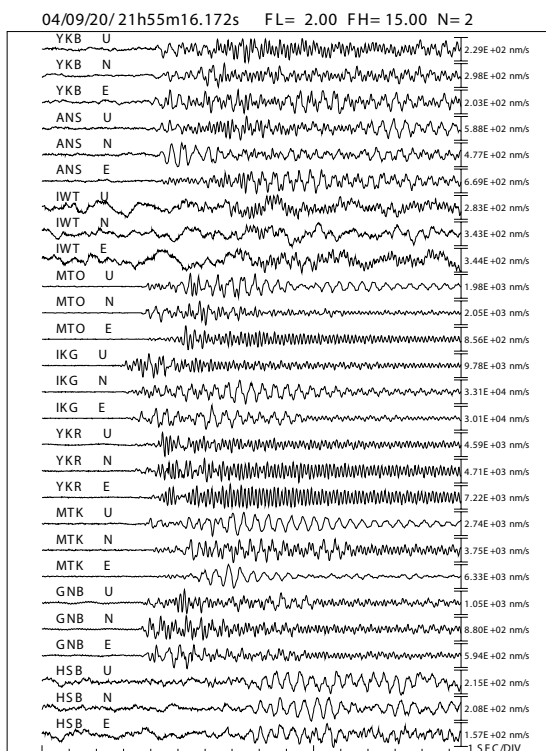


図2. 2004年9月20日21時55分に発生した低周波地震の波形例(左), とIKG観測点NS成分の速度振幅スペクトル(右). 2Hzがと8Hzが卓越.

岩手火山における歪・傾斜連続観測

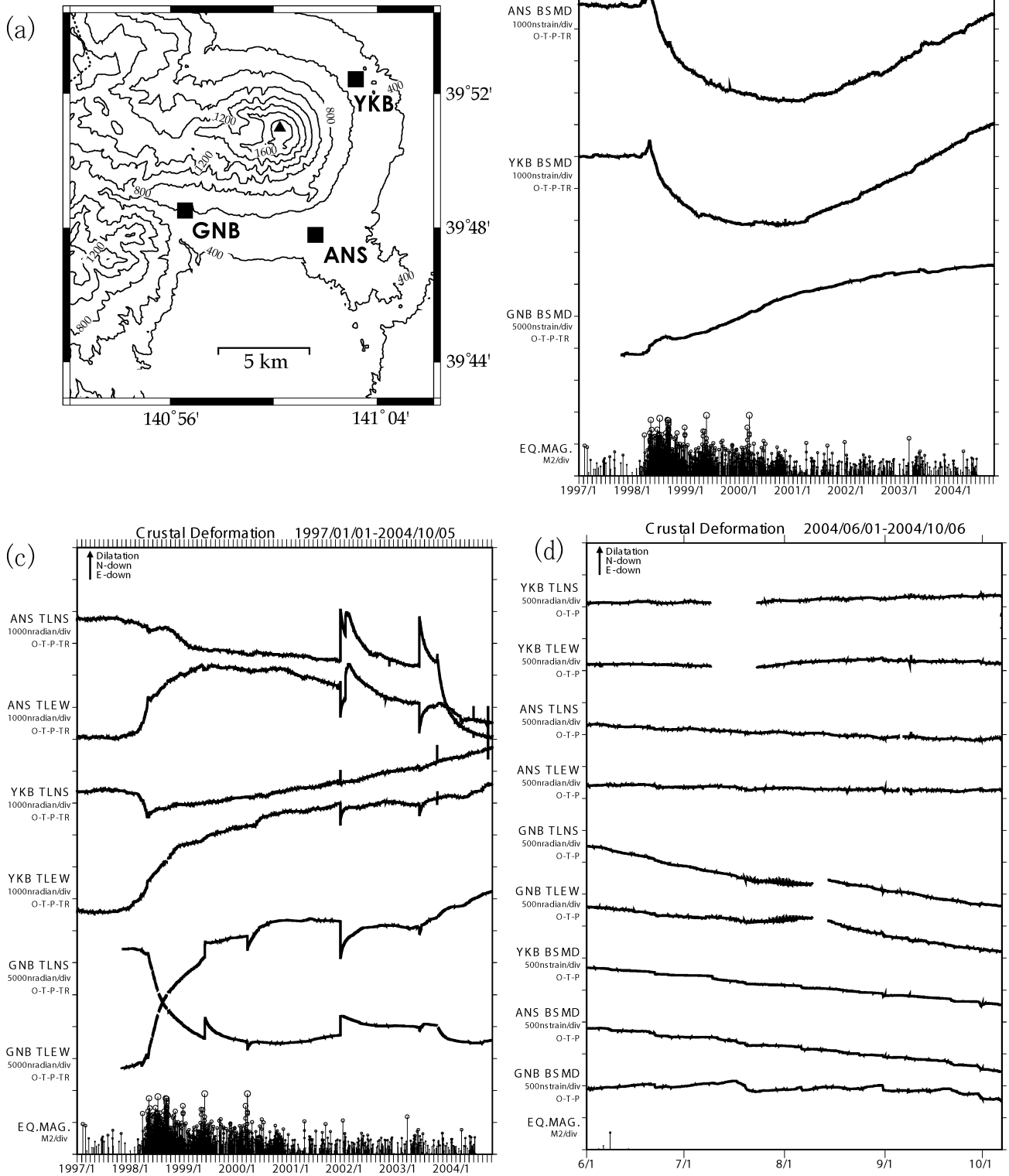


図3. 岩手山周辺における歪・傾斜変動記録。(a)観測点配置, (b)1997年1月～2004年10月5日における歪変動, (c)傾斜変動, (d)2004年6月1日～10月6日の歪・傾斜変動。BSMD:体積歪, TLNS:傾斜南北成分, TLEW:傾斜東西成分。(b), (c)は潮汐・気圧・トレンド補正済。(d)は潮汐・気圧のみ補正済。トビをともなう変動は有感地震の影響。